

事業所名

放課後クラブ ルンバルンバ原町

支援プログラム（参考様式）

作成目

2026 年

2 月

17 目

法人（事業所）理念		いつでもどこでも誰とでも、「たくましくいきる」を目標としています。 ①「こどもたちは必ず成長する」②「できた！を一緒に創る」③「ひとつずつ大切に積み重ね、自立と就労を目指す」			
支援方針		日常生活における基本的動作および、知識技能を習得。集団生活に適応できるよう身体・精神状況並びに置かれている環境に応じて、適切かつ効果的な指導訓練をする			
営業時間		（）は長期休み 14（11）時 0（00）分から 17 時 30（00）分まで		送迎実施の有無	あり なし
		支 援 内 容			
本人支援	健康・生活	・身辺自立（着替え）・基本的生活スキルの習得・食事等・排泄・健康状態の把握・整理整頓・時間と環境の構造化			
	運動・感覚	・姿勢と運動・動作の向上（姿勢維持や上肢、下肢の運動・動作の改善及び習得、筋力の維持・強化） ・保有する感覚の統合的な活用（視覚、聴覚、触覚等の感覚を十分に活用できるよう運動や遊びを通して支援する			
	認知・行動	・感覚や認知の活用（視覚、聴覚等の感覚を十分活用して、必要な情報を収集して認知機能への発達を促す支援） ・知覚から行動への認知課程の発達（環境から情報を取得し、必要なメッセージを選択して行動に繋げる一連の認知過程の発達を支援） ・認知や行動の手がかりとなる概念の形成（物や空間、時間等の概念の形成を図ることで、認知や行動の手がかりとして活用できる支援） ・数量、大小、色等の習得（数量、形の大きさ、色の違い等の習得のための支援） ・認知の偏りへの対応（個々の特性に配慮し、入ってくる情報を適切に処理できるよう支援する。こだわりや偏食に対する支援） ・行動障害への予防及び対応（感覚や認知の偏り、コミュニケーションの難しさから生ずる行動障害の予防と適切行動への対応の支援			
	言語 コミュニケーション	・言語の形成と活用（体系的な言語の習得、自発的な発声を促す支援（物や体験と言葉の意味を結びつける等） ・受容言語と表出言語の支援（言葉や文字等を使って相手の意図絵お理解したり（受容）、自分の考えを伝える（表出）支援 ・人との相互作用によるコミュニケーション能力の獲得（それぞれに配慮された場面での人との相互作用を通して、コミュニケーション能力向上のための支援） ・指さし、身振り、サイン等の活用（指差し、身振り、サイン等を用いて環境の理解と意思の伝達ができるよう支援する） ・読み書き能力向上のための支援（発達障害の特性に応じた読み書き能力の向上のための支援） ・コミュニケーション機器の活用（絵カードや機器等のコミュニケーション手段を選択・活用し、環境の理解と意思伝達ができるよう支援） ・文字、パソコン等のコミュニケーション手段の活用（多彩なコミュニケーション手段を活用し、環境の理解と意思の伝達ができるよう支援する）			
	人間関係 社会性	・アタッチメントの形成（人間関係の認識と身近な人と親密な関係を基盤とした、周りの人と安定した関係を形成するための支援） ・模倣行動の支援（遊び等を通じて人の動きを模倣することで、社会性や対人関係の芽生えを支援する） ・感覚運動遊びから抽象遊びへの支援（感覚や運動機能の遊びから、見立て遊びやごっこ遊び等の抽象遊びを通じて徐々に社会性の発達を支援） ・ひとり遊びから共同遊びへの支援（ひとり遊び・並行遊び・連動的遊び・ルールを守って遊びを通して徐々に社会性の発達を支援） ・自己の理解とコントロールのための支援（できること出来ないことなど自分の行動の特徴を理解し、気持ちや情動の調整ができるよう支援） ・集団への参加への支援（集団に参加するための手順やルールを理解し、遊びや集団活動に参加できるよう支援）			
家族支援		家族面談・見学の実施／担当者会議の参加定期的に面談等を行い、学校や他機関との情報を共有し支援の質向上に向けて取り組みます		移行支援	長期休みに応じて外出行事を企画。公共交通機関等の体験等を通して就労における大切な社会ルールを学びます
地域支援・地域連携		毎月1回、各月目標を設定し防災訓練を実施します。長期休み等を利用し、消防署などの見学等も予定しています。地域周辺の歩行を定期的に実施。地域の方たちとの面識を深めます。		職員の質の向上	社会人としてのルールやマナーをe-ラーニングで学習。支援に関する研修を動画を用いて行い「支援の目」を向上。日々の活動への振り返りを行いPDCAを生かし、計画、実行、評価、改善を行う
主な行事等		・春の行事：水族館・消防署・収穫体験・外食体験・買物体験・アスレチック体験・地域交流・歩行訓練・工場見学 ・夏の行事：就労見学体験・公共交通機関体験・動物園・制作体験・七夕見学・外食体験・買物体験・アスレチック体験・新幹線車両基地訪問・工場見学・調理体験 ・秋の行事：ハロウィン・おやつ作り体験・アスレチック体験 ・冬の行事：クリスマスイベント・お正月制作・年賀状作り・初詣・バレンタインおやつ制作・節分行事			

事業所名

放課後クラブ ルンバルンバ

支援プログラム（参考様式）

作成日

2026 年

3 月

17 日

法人（事業所）理念		いつでもどこでも誰とでも、「たくましくいきる」を目標にしています。 ①「こどもたちは必ず成長する」②「できた！を一緒に創る」③「ひとつずつ大切に積み重ね、自立と就労を目指す」									
支援方針		日常生活における基本的動作および、知識技能を習得。集団生活に適応できるよう身体・精神状況並びに置かれている環境に応じて、適切かつ効果的な指導訓練をする									
営業時間		() は長期休み	14 (11)	時	0 (00)	分から	17 時	0 分まで	送迎実施の有無	あり	なし
		支 援 内 容									
本人支援	健康・生活	・身辺自立（着替え）・基本的生活スキルの習得・食事等・排泄・健康状態の把握・整理整頓・時間と環境の構造化									
	運動・感覚	・姿勢と運動・動作の向上（姿勢維持や上肢、下肢の運動・動作の改善及び習得、筋力の維持・強化） ・保有する感覚の統合的な活用（視覚、聴覚、触覚等の感覚を十分に活用できるよう運動や遊びを通して支援する									
	認知・行動	・感覚や認知の活用（視覚、聴覚等の感覚を十分活用して、必要な情報を収集して認知機能への発達を促す支援） ・知覚から行動への認知課程の発達（環境から情報を取得し、必要なメッセージを選択して行動に繋げる一連の認知過程の発達を支援） ・認知や行動の手がかりとなる概念の形成（物や空間、時間等の概念の形成を図ることで、認知や行動の手がかりとして活用できる支援） ・数量、大小、色等の習得（数量、形の大きさ、色の違い等の習得のための支援） ・認知の偏りへの対応（個々の特性に配慮し、入ってくる情報を適切に処理できるよう支援する。こだわりや偏食に対する支援） ・行動障害への予防及び対応（感覚や認知の偏り、コミュニケーションの難しさから生ずる行動障害の予防と適切行動への対応の支援									
	言語 コミュニケーション	・言語の形成と活用（体系的な言語の習得、自発的な発生を促す支援（物や体験と言葉の意味を結びつける等） ・受容言語と表出言語の支援（言葉や文字等を使って相手の意図絵お理解したり（受容）、自分の考えを伝える（表出）支援 ・人との相互作用によるコミュニケーション能力の獲得（それぞれに配慮された場面での人との相互作用を通して、コミュニケーション能力向上のための支援） ・指さし、身振り、サイン等の活用（指差し、身振り、サイン等を用いて環境の理解と意思の伝達ができるよう支援する） ・読み書き能力向上のための支援（発達障害の特性に応じた読み書き能力の向上のための支援） ・コミュニケーション機器の活用（絵カードや機器等のコミュニケーション手段を選択・活用し、環境の理解と意思伝達ができるよう支援） ・文字、パソコン等のコミュニケーション手段の活用（多彩なコミュニケーション手段を活用し、環境の理解と意思の伝達ができるよう支援する）									
	人間関係 社会性	・アタッチメントの形成（人間関係の認識と身近な人と親密な関係を基盤とした、周りの人と安定した関係を形成するための支援） ・模倣行動の支援（遊び等を通じて人の動きを模倣することで、社会性や対人関係の芽生えを支援する） ・感覚運動遊びから抽象遊びへの支援（感覚や運動機能の遊びから、見立て遊びやごっこ遊び等の抽象遊びを通じて徐々に社会性の発達を支援） ・ひとり遊びから共同遊びへの支援（ひとり遊び・並行遊び・連動的遊び・ルールを守って遊びを通して徐々に社会性の発達を支援） ・自己の理解とコントロールのための支援（できること出来ないことなど自分の行動の特徴を理解し、気持ちや情動の調整ができるよう支援） ・集団への参加への支援（集団に参加するための手順やルールを理解し、遊びや集団活動に参加できるよう支援）									
家族支援		家族面談・見学の実施／担当者会議の参加定期的に面談等を行い、学校や他機関との情報を共有し支援の質向上に向けて取り組みます				移行支援		長期休みに応じて外出行事を企画。公共交通機関等の体験等を通して就労における大切な社会ルールを学びます			
地域支援・地域連携		毎月1回、各月目標を設定し防災訓練を実施します。長期休み等を利用し、消防署などの見学等も予定しています。地域周辺の歩行を定期的に実施。地域の方たちとの面識を深めます。				職員の質の向上		社会人としてのルールやマナーをe-ラーニングで学習。支援に関する研修を動画を用いて行い「支援の目」を向上。日々の活動への振り返りを行いPDCAを生かし、計画、実行、評価、改善を行う			
主な行事等		・春の行事：水族館・消防署・収穫体験・外食体験・買物体験・アスレチック体験・地域交流・歩行訓練・工場見学 ・夏の行事：就労見学体験・公共交通機関体験・動物園・制作体験・七夕見学・外食体験・買物体験・アスレチック体験・新幹線車両基地訪問・工場見学・調理体験 ・秋の行事：ハロウィン・おやつ作り体験・アスレチック体験 ・冬の行事：クリスマスイブント・お正月制作・年賀状作り・初詣・バレンタインおやつ制作・節分行事									